

密漁ドローンで監視

大槌で実証実験 抑止効果も期待

密漁の監視や抑止に小型無人機「ドローン」を活用する実証実験が7日、大槌町で始まり、試験飛行が同町吉里吉里の海岸で公開された。監視船と比べ、広範囲を効率的かつ安全に監視できると期待されている。

実証実験は、ドローンの活用推進に取り組み「セベック」と「ミツイワ」（いずれも東京）の2社が、新おつち漁協の協力を得て行う。ドローンに飛行時刻や航路をあらかじめ設定。高性能カメラを搭載し、夜間の海上飛行で集めた映像データを解析して密漁をチェックする。ドローンを飛ばすことで抑止効果も狙う。

公開されたドローンの試験飛行（7日、大槌町で）



この日は3パターンの航路を設定したドローンが海上を飛び、撮影した映像をモニター画面で確認。漁協関係者らは「連続して何分

飛べるのか」「風雨の影響はないか」などと質問していた。海上保安庁のまとめによると、近年、密漁で摘発さ

れた件数は全国で年2000件以上。大槌町では東日本大震災前、漁協が毎年約800万円かけ、監視船で夜間に海上を見回ったが、区域が広く危険も伴った。監視船は震災で流失した。

実証実験では、機体の塩害対策や夜間撮影に最適なカメラ、漁協組合員が扱えるシステム作りなどの課題解決を目指す。セベックの小豆嶋和洋社長は同町出身で、「密漁対策に苦勞している全国の漁協に広めた」。同漁協の平野栄紀組合長は「アワビなどの密漁被害は大きな痛手。ドローンによる抑止効果に期待する」と話した。

プロフィール

「ついにその時が来たか、という思いであります」。6日の着任記者会見で、東日本大震災の被災地を管轄する県警のトップに就いた心境を問われ、その決意の強さをにじませた。

震災当時は皇宮警察本部の警備部長で、陸前高田市に被災者支援部隊を派遣した。京都府警時代には、同市の「奇跡の一本松」が描かれた茶わ

らなが福引で当たるなど、との縁を感じている。着々、同市や台風10号で被災した岩泉町などを視察し、は道半ばだと感じた。被災地安



ともい まさひろ 友井 昌宏 さん 47

被災地安

のコミュニケーション再生を心安全の面から支えたい述べた。県警の運営では「交通事故の抑止や悪質重要犯徹底検挙などに正々堂々

道へ

新入学

保健医療大地元で働く人材育成

盛岡市に開設された、看護学部看護学科のみ。二戸市で幼稚園を運営する学校

と、近年、密漁で摘発された件数は全国で年2000件以上。大槌町では東日本大震災前、漁協が毎年約800万円かけ、監視船で夜間に海上を見回ったが、区域が広く危険も伴った。監視船は震災で流失した。

って岩手やその周辺で働いてくれることを望んでいる」と期待した。看護職員不足について、県は2010年時点で5年

顔 雫石・御所小



1年生たち(御所小で)

県内で小学校の入学式がピークを迎えた7日、児童の減少で3校が統合して開校した雫石町立御所小では新1年生15人が入学した。

大村小、南畑小、安庭小が統合し、児童数は116人に。入学式で、高橋司校長が「皆さんは御所小の最初の1年生。わがままをせず、自分のことは自分でして、車などの事故に気を付けましょう」と呼びかけると、新入生たちは元気よく返事をしていった。谷田貝幸村君(6)は「15人全員がお友達。これからの勉強が楽しみ」と話していた。

町教育委員会によると、町内の小学校統合は初めて。小学校は今年度8校だが、他の地区でも再編を検討しており、来年度は5校になる見通しという。

大船度